

周囲に同じように努力している仲間がいる環境は大きな支え

N. Y.

東京学芸大学 教育学部 初等数学学科 進学

ひたちなか市立 勝田第二中学校 卒業

茨高の学習面で特に魅力的だと感じるのは課外授業が充実していることです。平日はほぼ毎日様々な内容の課外授業が実施され、自分に必要な授業を取れます。課外授業では、通常授業の復習だけでなく、応用問題や教科書とは違う考え方などを学ぶことができ、それによって理解を深めることができました。通常授業、課外授業のどちらもただ真面目な授業なのではなく、工夫されていてとても分かりやすく面白い授業で、課外授業の受講前はあまり気が乗りませんでしたが、楽しく受講することができました。また、茨高の課外授業は無料で取れるというところで1つ1つの課外授業を取るハードルが低く、必要な課外授業を多く取ることができたり、少人数すぎるものが少なく、気楽な気持ちで課外授業に参加できると感じました。私はこの充実した課外授業によって放課後の学習が身につき、行きたい大学への進学を達成できたと感じます。

私は吹奏楽部に3年間所属していました。中学生の頃から憧れて入部することができた吹奏楽部で3年間素晴らしい部員とともに様々なコンクールやコンサートに出場できたことが一番の思い出です。茨高の吹奏楽部は中1から高3まで多くの人が所属しており、学年を超えたつながりが生まれ、仲間とともに1つの音楽を作り上げる達成感を味わうことができ、茨高でしかできない貴重な体験がたくさんできました。また、毎年12月下旬に開催される定期演奏会では、多くのお客さんの前で部員全員で作りに上げた演奏を披露することができてとても楽しかったです。勉強との両立ははじめは大変でしたが、限られた時間の中で計画的に学習を進める習慣が身につき、結果として勉強への集中力も高まりました。周囲にも同じように努力している仲間がいる環境は大きな支えとなり、部活動と勉強のどちらも妥協せずに取り組むことができました。

私が茨高への進学を考え始めたのは、9月下旬に行われた私立学校説明会がきっかけでした。中でも特に魅力的だと感じたのは、学力によるクラス分けがない点です。同じような意欲や目標を持った生徒が集まる環境の中で学ぶことで、互いに高め合いながら成長できると考えました。茨高に入学する前は、同じ中学校から行く人が居ないということもあって友達と楽しくできるか不安でしたが、フレンドリーな人が多く、すぐに来て良かったと感じることができました。ただ賑やかなのではなく、勉強するときは勉強、と切り替えのできる人が多いところも茨高生の魅力だと思います。一貫生とは高3で初めて同じクラスになり、怖いと思っていた一貫生もとても優しく輪に入れてくれるような人達で、最後の文化祭やクラスマッチも全力で楽しむことができました。

大学進学後は教育学部で教育を学び、教師になることを考えています。大学でも様々なことを学び経験し、沢山コミュニケーションをとって茨高の先生のような素晴らしい教師になることを目指していきたいと思います。